

## タヌキとタニシ

5 むかしむかし、タヌキがタニシを誘って、二人で伊勢参りをしました。旅行もおしまいの日になって、タニシがタヌキに向って言いました。「どうだタヌキ君、ただこうしてある

10 タヌキも賛成して支度をしていますと、タニシはすばやく貝の蓋を開いて、タヌキの尾のさきに食いつきました。だから少しも疲れずに、タヌキと同じ速さで行くことができました。いよいよ伊勢の鳥居のそばまで到着しました。タヌキはよろこんで太い尻尾を振りしました。それが石垣の石にぶつかって、タニシの貝が壊れて、タニシは土の上へ落ちました。でも、ずるいタニシは見栄っ張りですから、痛いのがまん

15 して言いました。  
「おいタヌキ君、遅いじゃないか。僕は先にここへ着いて、もう服を脱いで休んでいるんだよ。」

20

タヌキ=jap. Dachs; タニシ=Wasserschnecke

伊勢参り=Pilgerfahrt nach Ise<sup>1</sup>

5

伊勢の大神宮=der große Schrein von Ise

かけっこ=Wettkampf

食いつく=anbeißen

10

鳥居=Eingangstor zum Schrein



ずるい=listig, schlau; 見栄っ張り=eitel, angeberisch

15

先に=zuerst, vorher, früher

<sup>1</sup> Die Stadt Ise gilt als die heiligste Stadt des japanischen Kaisertums mit dem Hauptschrein des Schintoismus.